

|       |       |         |      |
|-------|-------|---------|------|
| 科 目 名 | 地域と文学 | 授 業 形 態 | 講義科目 |
| 担 当 者 | 長 尾 建 | 単 位 数   | 2単位  |

## 〈トボス〉と文学

### 1. 授業内容

文学は決して作者の想像力のみによって成立するわけではありません。文学作品はそれが成立した地域の風土や文化、歴史を色濃く反映させています。この講義では、そのような象徴的な意味の場＝〈トボス〉に着目して、文学作品を読解していきます。

このような意図から、四つの作品を取り上げます。最初は安西冬衛の「冬」です。これは戦前の日本の植民都市、大連が舞台です。〈異郷〉大連で成立した作品は、どのような〈トボス〉性を持っているのでしょうか？二つ目は大城立裕「カクテル・パーティー」です。そこには占領下沖縄のアメリカ人と日本人の不平等な関係が暴露され、戦後沖縄のトボスが赤裸々に作品化されています。三つ目が太宰治「富嶽百景」。富士山の持つ象徴性とはなんなのでしょうか？最後が大田洋子「半人間」です。被爆作家の物語です。

文学を通じて、地域の現状と歴史を考えましょう。

### 2. アクティブ・ラーニングの要素

### 3. 到達目標

(1) まずはじめに、小説を通して、文章を読み解く基礎的な〈言語処理力〉を身につけることを目標とします。また、文学ですから言葉によって登場人物の心理や思考、さらに小説の構造を把握していきます。そのための言葉による分析力の涵養を目指します。さらに、自分と異なる地域の人々、つまり〈他者〉の文化や価値観を知るといふ〈理解力〉を養成し、〈他者〉を鏡としてそこから得られる自己分析力、反省力＝〈主体性〉を養います。

(2) 一方で、小説を主観的にではなく、小説の論理構造を客観的、分析的に解釈していくので、〈論理的・多面的思考力〉を身に付けることを目指します。同時に小説を現代の視点や問題意識から分析することによって、〈課題発見力〉を養うことも目的とします。

### 4. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素

①言語処理力／④論理的・多面的思考力／⑬課題発見力

### 5. 卒業認定・学位授与方針との関連

駿河台大学の「ディプロマ・ポリシー」の「(1) 基礎的な力」における「社会人に必要な読解力や文章力を有し」と、「(2) 考える力」における「様々な角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考えることができます」に関連しています。

### 6. 関連科目

文学A／文学Ⅰ  
文学B／文学Ⅱ  
現代と文学

### 7. 授業外における学習方法及び必要な時間

とにかく与えられたテキストを、繰り返し徹底的に読むことです。小説を読み慣れていないみなさんは、1回読んだだけでは、とても作品世界の全体を理解できません。〈言語処理力〉を磨くためには、繰り返し作品を読んで下さい(2.0時間)。

また、講義で行った長尾の解釈を批判的に考えることも勉強になります。「自分ならこう解釈する」という批判的な考察は、〈論理的・多面的思考力〉や〈課題発見力〉をさらに高めることに役立ちます(2.0時間)。

### 8. 成績評価方法

| 評価方法         | 評価割合 | 成績評価基準等                           |
|--------------|------|-----------------------------------|
| 期末試験ないしはレポート | 70%  | 到達目標の(1) (2)に明示した能力が身についたかを評価します。 |
| 小課題          | 30%  | 到達目標(2)に関連して、授業に関連した小課題を毎回課します。   |

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

毎回課す小課題の中から、他の学生の参考になる意見や考えを紹介します。

## 10. 実務経験のある教員による授業科目等

| 担当教員の実務経験 | 実践的な教育の取組 |
|-----------|-----------|
| —         | —         |

| 授業計画 |                                        |
|------|----------------------------------------|
| 第1回  | イントロダクション-渋谷、新宿、はたまた飯能のトポスとは           |
| 第2回  | 安西冬衛「冬」について（1） きな臭さ漂う大連                |
| 第3回  | 安西冬衛「冬」について（2） 大連に生まれたコスモポリタニズム        |
| 第4回  | 安西冬衛「冬」について（3） 文学の想像力                  |
| 第5回  | 大城立裕「カクテル・パーティー」について（1） 占領下「沖縄」の現実     |
| 第6回  | 大城立裕「カクテル・パーティー」について（2） 虚構の親善          |
| 第7回  | 大城立裕「カクテル・パーティー」について（3） 二重化された〈差別／被差別〉 |
| 第8回  | 大城立裕「カクテル・パーティー」について（4） 現在この小説を読む意義    |
| 第9回  | 太宰治「富嶽百景」について（1） 富士山という解釈共同体           |
| 第10回 | 太宰治「富嶽百景」について（2） 富士山との対峙               |
| 第11回 | 太宰治「富嶽百景」について（3） 月見草の意味                |
| 第12回 | 大田洋子「半人間」について（1） 被爆作家のその後              |
| 第13回 | 大田洋子「半人間」について（2） 日本再独立と被爆地広島           |
| 第14回 | 大田洋子「半人間」について（3） 戦争の脅威                 |
| 第15回 | まとめ                                    |

## 11. テキスト・参考書等

| 書名           | 著者   | 出版社     | ISBN | 備考                                       |
|--------------|------|---------|------|------------------------------------------|
| 『カクテル・パーティー』 | 大城立裕 | 岩波現代文庫  | —    | 授業は文庫本がなくても理解できるように行います。                 |
| 『走れメロス』      | 太宰治  | 新潮文庫    | —    | 「富嶽百景」のテキスト。                             |
| 『屍の街・半人間』    | 大田洋子 | 講談社文芸文庫 | —    | 絶版。授業は文庫本がなくても理解できるように行います。興味を持った人は文庫本を古 |